



竹内街道・横大路(大道) ～難波から飛鳥へ日本最古の官道～ ガイド付ウォーキングイベント

大阪府堺市 コース マップ

日本遺産の竹内街道から世界遺産の百舌鳥古墳群を巡るコース

日本遺産認定歴史の道、竹内街道・横大路(大道)とは

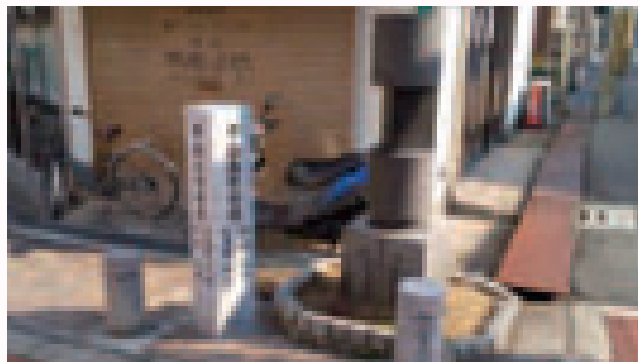
推古天皇21(613)年に敷設された竹内街道・横大路(大道)は、外交の玄関口である難波津から堺を経て、政治の中心だった飛鳥・小墾田宮(おほりだのみや)を結ぶわが国最古の官道。総延長約40キロ、幅20メートル以上だったといわれる。難波宮の朱雀大路から南下する難波大道、堺と長尾神社(奈良県葛城市)を東西に結ぶ竹内街道、長尾神社から小西橋(桜井市)を結ぶ横大路の三つの道からなる。古代以来、大陸との外交や聖徳太子信仰、物流の拠点を結ぶ経済など、時代とともに多様な表情を刻んできている。平成29(2017)年に日本遺産に認定された。



主催：竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会 共催：産経新聞社
(大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)

ガイド：NPO法人堺観光ボランティア協会

令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



⑤ 竹内街道・西高野街道の分岐点

竹内街道は竹内峠を越えて堺と大和を結ぶ要路でした。古代は丹比道(たじひみち)と呼ばれ沿道には渡来人ゆかりの地も多く、大陸から仏教文化が伝えられたのもこのルートです。

飛鳥時代、遣隋使も竹内街道を通り難波津から船出したといわれています。

竹内街道とはここでお別れし、これからは世界遺産登録された百舌鳥古墳群に向かいます。



⑥ 仁徳天皇陵古墳 世界遺産

前方部を南に向けた前方後円墳で、宮内庁が「仁徳天皇 百舌鳥耳原中陵」として管理しています。

百舌鳥古墳群には4Km四方にかつては100基以上の古墳がありましたが現在44基残っています。

仁徳天皇陵古墳は、5世紀中頃に造られた日本最大の古墳ですが、世界的にも最大級です。

三重の濠に囲まれた内は46haほどあり甲子園球場12個分の広さですが、鍵穴の形をした墳丘の長さが486mありこれが世界最長です。高さはクフ王のピラミッドが146mで最も高く、体積は秦の始皇帝陵が300万㎡あり最大です。



⑦ 黄梅庵・伸庵

黄梅庵は、日本の電力開発に尽力し、また、明治、大正、昭和に亘って茶道の四天王と称された故松永安左エ門翁(耳庵)が、昭和23年(1948)に奈良県今井町にあった茶室を、小田原の地に譲り受けたもので、屋敷内の梅実が黄熟する頃に完成したことが名前の由来です。

今井町は「海の堺、陸の今井」といわれ、安土桃山時代から江戸時代にかけて堺とは関係の深い商業都市でした。

昭和55年(1980)、堺市の市制90周年記念事業の一環として、寄贈を受けたものです。

伸庵は、同時期に数寄屋普請の名匠、仰木魯堂が粋をこらして昭和4年(1926)に建てた茶室で福助(株)から寄贈を受け移築されています。



⑧ 履中天皇陵古墳 世界遺産

前方部を南に向けた前方後円墳で、宮内庁が「履中天皇 百舌鳥耳原南陵」として管理しています。

5世紀初頭の築造で、百舌鳥古墳群の中で最初に大王墓として築かれました。かつては10基前後の陪塚があったともされますが、現在は後円部の北側にある七観音古墳と寺山南山古墳が残るのみです。昭和61年(1986)には蓋(きぬがさ)形や家形、靱(ゆぎ)形などの形象埴輪が採取されました。

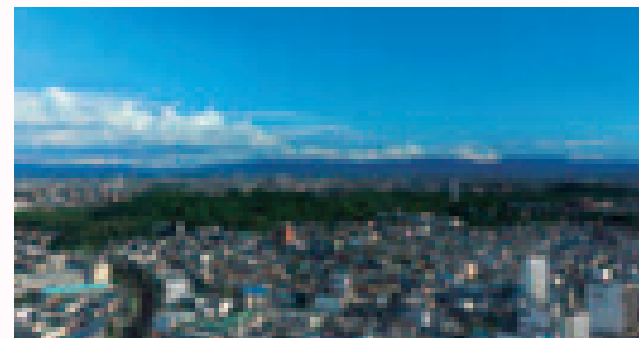


① 竹内街道案内板(竹内街道の起点)

推古天皇の時代、613年に「難波より京に至る大道を置く」として竹内街道が整備されました。

この案内板は平成25年(2013)11月10日、竹内街道制定1400年を記念して設置されました。

ちなみにこの道は西高野街道を兼ねており、交差する南北の大道は紀州街道です。



③ 堺市役所高層館21階展望ロビー

平成2年(1990)11月に完成しました。地下4階地上21階84m(塔屋を含むと94.6m)あります。360度展望でき、回廊式ロビーは9時から21時まで利用可能です。施設点検などの休館日以外は土日祝も開館しています。

ここからは二上山や竹内街道の一部が見えます。竹内街道は百舌鳥古墳群と古市古墳群を結ぶ街道でもあります。また、世界遺産登録された百舌鳥古墳群や堺の市内に加え、周辺の景色が楽しめます。条件が良ければ明石海峡大橋も望めます。



② 開口神社

開口神社は、神功皇后により創建されたと伝えられ奈良時代には開口水門姫神社と称されました。

海の玄関口・堺にあって、港を護る役割をもち、最古の国道といわれる竹内街道の西端にありました。

また、行基により、念仏寺も建立されました。念仏寺の通称が「大寺」であったため、念仏寺が廃寺となった今も、堺の人々は「大寺さん」と愛着をこめて呼んでいます。

開口神社は南庄の氏神として、信仰を集めています。

開口神社にゆかりのある堺出身の歌人、与謝野晶子にちなみ、晶子が詠んだ歌で恋を占う「晶子恋歌みくじ」があり、好評を得ています。



④ 榎宝篋印塔

慶安元年(1648)夢幻永海(むげんえいかい)という僧が近辺の人々に呼びかけ建立しました。

塔建立の趣意書には「塔を路辺に据え置いて、あまねく通行の人々とも良縁を結びたい」とあり、竹内街道・西高野街道沿いにあることから地域の人々のみならず、旅人にも信仰されていました。



⑨いたすけ古墳 世界遺産

前方部を西に向けた前方後円墳で、堺市が管理しています。墳丘長は約146mです。

昭和30年(1955)頃破壊の危機に直面しますが、市民などによる保存運動によってまもられ、史跡に指定されました。後円部から衝角付冑型埴輪が出土しました、市民の保存運動によりまもられたことから、堺市の文化財保護のシンボルマークになっています。5世紀前半の築造と考えられています。



⑩御廟山古墳 世界遺産

前方部を西に向けた前方後円墳です。墳丘は陵墓参考地として宮内庁が、周濠は堺市が管理しており国史跡に指定されています。墳丘長は203mあり百舌鳥古墳群では4番目の大きさです。

現在は一重の濠ですが、かつては二重に巡っていたことがわかっています。

平成20年度(2008)には、墳丘と濠の中で、宮内庁と堺市が同時に調査しました。その結果、墳丘は3段に築かれ、南側にのみある造り出しは後円部につながらず、前方部に取り付くことが明らかになりました。

円筒埴輪、朝顔埴輪以外に蓋(きぬがさ)・盾・冑(かぶと)・馬・鳥・家・冏形(かこいがた)などの形象埴輪や土師器高杯、甕(かめ)須恵器、土製品が出土しました。出土した遺物より、5世紀前半、仁徳天皇陵古墳よりやや先行する時期の築造と考えられます。

御廟山古墳は、百舌鳥八幡宮の奥の院として祀られ、現在の応神天皇陵(羽曳野市)が出来るまでの仮陵として祀られていたこともあります。